

季節のこぼれ

子どもの頃、夏祭りで八幡様の境内に出る夜店に行くのが楽しかった。涼みがてら浴衣がけで出かける人で賑わう通りには、金魚すくい、風鈴売り、ヨーヨーつり、瀬戸物、衣類、ぞっき本売りなどでいっぱいだった。それらをラムネを飲みながらひやかしていく楽しさ。照明に使われていたアセチレンガスの独特

のにおいも今となっては懐かしい。そういえば綿菓子売りの隣にはきまってお面売り屋があり、鉄腕アトムのお面を親にせびって買ってもらったことを思い出す。そのあと、好きな彼女にばったり出合い、慌てて鉄腕アトムに変身したっけ。あたらしく風鈴の音や吊りてすぐ(町 春草)

●あなたと三笠をむすぶホット情報●

三笠のNEWS

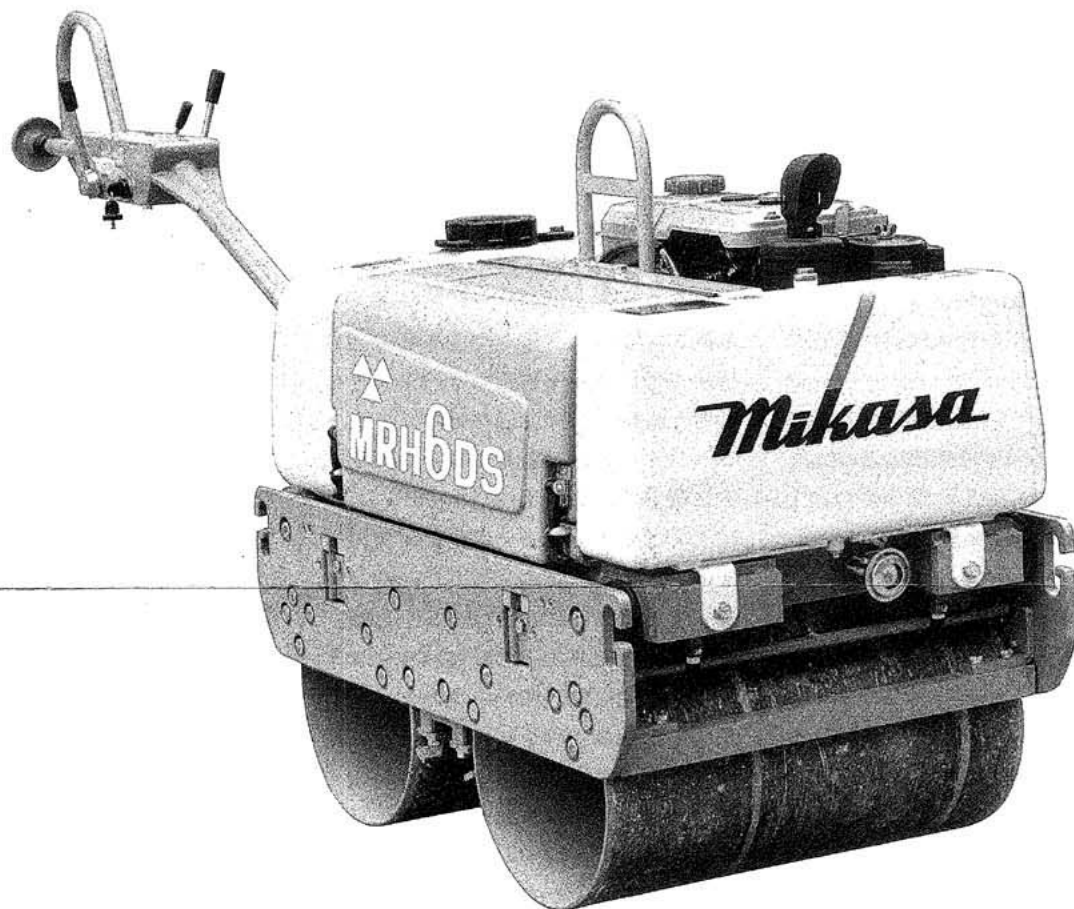
三笠ニュース

PR句報/年4回発行
発行所 三笠産業株式会社
郵便番号101 東京都千代田区猿樂町1-4-3
電話03(3292)1411大代表 ファックス03(3233)0530

油圧駆動

振動ローラーMRHシリーズ

待望600kg級が登場!



ご好評を頂いております油圧駆動方式のMRH-7D/7DS振動ローラーに600kgクラスのMRH-6D/6DSが新たに加わりましたのでご紹介させていただきます。

このMRH-6D/6DS振動ローラーは、駆動方式として油圧トランスミッションと油圧モーターの組合せによる油圧方式を採用しており、走行の確実さと、メンテナンス性が向上しております。

さらに駐車時に必要な機械式駐車ブレーキを装備しております。

振動方式は、一軸偏心で、振動数3,300r.p.m.遠心力1,100kgfの起振体を搭載しております。また起振体の潤滑にオイルバス方式を採用しており、メンテナンスが非常に楽になっております。

搭載する原動機は、6DSがヤンマーNFAD6-EKMKで電動始動方式が標準仕様となっております。6DはNFAD6-KMKでクランク始動方式となっております。尚、クボタは6DがE75-N、6DSがE75-NBで生産時オプションとなっております。

水タンクは樹脂製でサビの心配は全

くありません。しかも水の出口にはストレーナーが装備され、散水管のゴミ詰まりを防止しております。尚、このストレーナーは弊社の特許となっております。

センターカバーも樹脂製で、日常点検が簡単に出来るように、ワンタッチで開けられるボンネット型になっております。

仕様

型	式	MRH-6D	MRH-6DS
機体寸法(mm)	全 長(作業時)	2600	←
	格納時	1395	←
	全 高(作業時)	1110	←
	格納時	1950	←
	全 幅	692	←
	軸 距	520	←
	締固め幅	650	←
ドラム寸法(mm)	外 径	355	←
	幅	650	←
重 量(kgf)	整備重量	580	600
	乾燥重量	555	575
性 能	走行速度(前後進等速)km/h	0~3	←
	登坂能力(度)	20	←
	振動数(V.P.M.)	3300	←
	遠心力(kgf)	1100	←
水タンク容量(ℓ)		40	←
オイルタンク容量(ℓ)		25	←
原 動 機	メーカー	ヤンマー	←
	型式	NFAD6-EKMK	NFAD6-EKMK
	最大出力	6/2500	←
トランスミッション	始動方法	クランクハンドル式	電動式
	メーカー(型式)	イトン(M11)	←

車体両側の出っ張り、即ちウォールクリアランスは21mmで、壁際作業が楽に出来ます。また、カーブクリアランスは218mmと大きく、縁石作業がぎりぎりまで行えます。

車体中央にある一点吊りフックはバランスも非常に良く、積み込み、積み卸しに便利になっております。

ではもういちど整理して書き並べさせていただきます。

- ①確実走行。メンテナンス向上。
- ②機械式駐車ブレーキです。
- ③起振体は一軸偏心でオイルバス方式になっています。
- ④錆びない水タンク。散水管のゴミ詰り防止には特許ストレーナー装備。
- ⑤日常点検はワンタッチで開けられるボンネット型センターカバー。
- ⑥電動始動、クランク始動のどちらでも選択することが可能です。
- ⑦カーブクリアランスは大きく、ウォールクリアランスは極小に、つまり壁際や縁石ギリギリの作業OKです。
- ⑧きわめて安定した吊りフックによつ



初夏の庭には精気が満ちている。万物生成の元気にあふれている。色とりどりの花、つやつやした緑の樹木。むしってもむしっても伸びる雑草たち。私は休日待ちかねるようにして庭いじりを楽しむ。梅雨季の天気予報ははずれやすく快晴蒼天の下、花壇の片隅に思いがけなく豪華なアマリリスの花が開いて驚かせた。これは去年の夏、ある人から頂いて社長室で咲いた水栽培ものだがその球根をもちかえって庭に埋めたまま忘れていたのだった。再び咲いた花は去年の室内での優美な容姿をさらにひとまわりも大きく開いていた。品種の良さもあるだろうけれど何より土の力、土壌の驚異に感嘆せずにはいられない。自己流で庭木の剪定にも精を出す。梅の実はいくら丹念にいても緑の葉蔭には可愛い忍者みtain丸い実が顔をのぞかせるからいじらしい。

日出でて耕し日暮れて止む。帝王の力、我において何か有らんや…、

誰の詩だったろうか。権力や支配などになんの関わりもない清々しい田園生活を詠んだ漢詩の断片が脳裏にうかんだ。科学進士の秀才。猟奇かん官の世界。女傑西太后。李鴻章。袁世凱……。汗にまみれて庭いじりの作業をしながら、私には先日読み終わった中国清朝末期の人物群像うずまく長編歴史小説の興奮がふり返っているらしい。『蒼穹の昴』上下二巻。作者は浅田次郎という新人だがよくぞこれほど身を入れ陶醉して読める歴史ロマンを築き描いてくれたものだ。読者として感謝したくなるような小説に出会えたのは久しぶりである。小説創作と建設機械製作は本質的には違うけれど、三笠製品にもふとロマンの夢を浮かべたりして、庭いじり作業の長い夏の日が終わった。

で積み込み卸しがとても便利で安全です。

以上のようにMRH-7D/7DS同様、数々の優れた特長を持っております。MRH-6D/6DS振動ローラーを是非ご愛用いただけますようお願い申し上げます。

第38回東部地区三笠代理店会開催



快晴の5月16日、17日の両日、福島県会津若松市・東山温泉「東鳳」に於いて恒例の代理店会を開催した。

御出席戴く皆様のアクセスを考慮し、例年関東地方が多かった開催地も、今回は新緑の会津へと足を伸ばし初めて東北地方での開催となった。

東京駅にご集合された方々、又各々現地へご参集戴いたお客様等、多数をお招きして盛大に開催された。

ご来場の皆様が毎年楽しみにしている第一部の新製品発表会では、パワーアップした密閉型高周波インバーター、全油圧式ローラー、又4サイクルランマー、ディーゼルエンジン搭載ランマー、油圧式前後進コンパクターの500kg型等、各機種とも充実し且つシリーズとしての品揃えが出来、技術研究所員の説明、実演ではお客様ご自身が運転されるなど熱心に、そして興味深く聞き入っていたご様子であった。

引き続きコンベンションホールに場所を移し、第二部の代理店会議に入った。開会にあたり高野常務よりご来賓の皆様へ平素のお礼と歓迎の言葉を述べた後、京谷社長が感謝を込めた挨拶を申し述べた。「国内外とも厳しい状況の中、特に円高に陥った上半期は輸出売上は落ちたものの、今年に入り為替も持ち直し、内外を合わせると横這いであり、全体としては順調な成績であった。商品的には、本日発表の新製品を始めとし、マイコンパイプレーター的好评が浸透しつつ益々の普及を見、



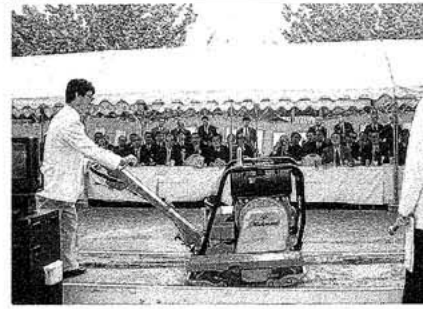
輾圧機械では近々ランマーのディーゼルエンジンなどによるシリーズ化、ローラー部門では全油圧式によるデザインの一新、油圧前後進コンパクターの国産唯一のメーカーとして既に3,000台以上を出荷し、更なる期待をしている。景気不透明の現状ではあるが三笠としては時代に即応した新技術を維持し、毎年新製品を出すことが基本である」と結んだ。

御出席の皆様が初めて目にした新製品に対し、補足説明の時間もと、技術研究所長の松下専務がお応えし、その他質疑応答についても貴重なご意見ご感想を活発にお聞かせ戴き、予

定時間を過ぎるほどの有意義な会議であった。

休憩を挟み第三部の懇親会では、京谷副社長より日頃のお礼の挨拶の後、仙台市の山中産業㈱中野社長様よりご祝辞を賜り、住友商事㈱の安保部長様より昨今の経済情勢に負けない決意での力強い乾杯のご発声と共に、終始和やかにご歓談の和が広がっていた。

翌日は、観光コースと親睦ゴルフ大会とに別れ、観光に於いては会津武家屋敷、酒どころとしても有名なご当地の会津酒造博物館等々を見学し、歴史の町会津をお楽しみ戴いた。又ゴルフ



大会は緑あざやかな郡山GCにて、各々日頃の腕前をご披露され、優勝は㈱オノマシンの小野社長様、準優勝は出雲崎機販㈱の久住社長様BG賞はサイトー建機販売㈱の斎藤社長様でした。日焼けした皆様は、また来年の再会を誓い合い郡山駅にて三々五々帰路についた。

札幌課 東山記

西部地区三笠代理店会開催

去る5月28日、大阪ロイヤルホテルに於いて『西部地区三笠代理店会』が、西日本各地からの代理店90社のご参加を得て開催された。

まずホテル隣接の特設展示場で第一部「三笠新製品実演説明会」が三笠建設機械㈱永井部長の司会及び三笠産業㈱技術研究所松下専務取締役の進行により行われた。

第一技術部より新製品の説明が始まり、密閉式で外扇型冷却構造及び電子制御による保護でさらに信頼性の向上した高周波インバーターFU-160型、FU-200型及びFV-300型は、出力周波数が160~240Hz迄調整可能なこと等が特徴である。第一技術部からは他にコンクリート投入位置レベル検知センサーやMCE-255型・305型電動ハンドカッターが紹介された。

引き続き、第二部技術部からは小型前後進バイプロコンパクターMVR-65W型及び重量80kg以上の工事指定向けMVR-100W型の実演紹介、振動ローラーの新型として、油圧駆動方式を採用したMRH-7D型及びMRH-6D/6DS型(Sはセル付)が、両サイドとも壁際や縁石ギリギリの作業が可能等の特徴とともに実演された。

次に、4サイクルエンジン搭載ランマーやディーゼルエンジン搭載ランマーと共に発売以来輾圧力や優れた安定性、耐久性、操作性が評判のMT-63W型が改めて紹介された。

新製品実演説明会に続いて、会場をホテル内に移し、第二部「代理店会議」が三笠建設機械㈱村川取締役営業部長の司会進行により行われた。

最初に挨拶に立った三笠建設機械㈱小野社長は臨席の皆様へ感謝と御礼の辞を申し上げた後「住専を始めとする極めて深刻な金融不安にふれ、展望が読み難い状況の中ではありますが小型建機は元来地味な商品であり、活況の折りにも真面目に、終始地道な泥くさい販売姿勢で活路を求め、市場のニーズを捕らえて積極的に新製品を開発するのがメーカーの使命」との考えを示し、続いて平成8年度の公共事業費で



京谷社長



小野社長

も約20%を占め、未だ全国平均51%と極めて低い普及率にある下水道関連に向けた機械として、前後進バイプロコンパクターは、管敷設工事の埋戻し輾圧に限らず、狭い場所やローラーの輾圧力では満足出来ない場所にまで巾広く用途が広がっており、納期の遅延を招いていることにお詫び申し上げた。そして「今後共々細かいニーズに応える積極的な開発精神を失わず、又営業面では創業精神を忘れることなく精進してまいら三笠に何卒ご期待とご支援・ご協力を心からお願い申し上げます。」と挨拶を締められた。

次に三笠産業㈱京谷社長が挨拶に立ち「景気は昨今の景気浮揚策の効果で穏やかな回復基調にあるが、一般設備投資・個人消費につないで景気の腰折れを防ぐ思惑のもと、公共事業の見送りが伝えられる反面、解散・総選挙を控え追加対策があるとの声もあり、混沌としているが、景気の変動は世のならい、過去にも幾度となく経験していることですから、ここにお集まりの皆様共々、各企業がそれぞれ定めた目標に向かって、創意と工夫、それに不屈の精神を持ってチャレンジして行くなれば、かならずや発展成長の道はあると楽観的に確信して進んでゆく覚悟があります。」と述べ、三笠主要製品について「マイコンパイプレーターは、何と言っても軽くて使い易く、力が強い



点がユーザーに好まれているからに他ならないと思います。続いて油圧式前後進バイプロコンパクターは、国内唯一のメーカーとしてすでに3,000台を超す台数が出荷され、使用され更に一層の伸びが期待できる大型商品に成長致しております。またローラーにつきましては、油圧駆動方式を採用し、全面的にデザインを一新し、昨年発売して好評を博しておりますMRH-7型に続きまして、皆様方からのご要望の高かった小型のMRH-6型がこの程完成しましたので先程ご紹介しましたが、発売は8月末頃からは成ってしまい、誠に申し訳なく存じます。」と述べた。

両社長の挨拶後、三笠建設機械㈱窪田取締役営業本部長が代理店・来賓ご紹介を行い、続いて技術研究所松下専務より新製品を中心に製品の説明が行われた。

代理店会議終了後は席を改め「菊の間」に於いて、元ニュースキャスターで日本大学教授の新堀俊明先生による『これからどうなる経済の展望』と題した記念講演が行われた。

第四部『懇親会』は、三笠建設機械㈱田中取締役営業部長の進行係によりスタートし、窪田営業本部長の開宴のことばに続いて、㈱カンキ桐月社長様のご挨拶を戴き、㈱東京三菱銀行大阪西支店西支店長様の乾杯により和やかな雰囲気の中で行われました。出席した三笠スタッフもご来席頂いた方々



全員に歓談でき、さくま美華のオンステージの後、喉自慢の方々が生演奏での歌唱大会へと盛り上がり、三笠産業㈱京谷副社長の閉会のことばと万歳三唱によって盛会裡に終了致しました。

翌日は西宮カントリー倶楽部に於いて、ご有志による『西部三笠親善ゴルフ大会』が行われ、㈱森谷商会の森谷社長様が優勝されました。

西販課 川島記

'96/'97 三笠総合カタログ完成

三笠産業の新年度総合カタログが出来上がりました。弊社営業員が順次お届けいたしますが、お急ぎの方は三笠ニュース編集室宛にお申込下さい。



第39回 笠友会総会開催

新宿駅を発ち中央本線を小一時間も進んだ頃、昼食も済み談笑の合間に見る車窓には東京ではとくに散ったはずの桜が満開……何時しか季節が逆上ったような景色が流れている。やがて列車が目的の甲府盆地へ進みいると、桜に代わり、白い杏と濃桃色の桃の花が遠く近くにと競い咲いている。

春の季節の一番綺麗な所だけをつまみ食いしたような、ちょっと得した気分で旅は始まった。

最初の日程は、山梨県立美術館見学である。ミレーの「落ち穂拾い」や版画多数の他、ルノワール、ルソー、クールベ等、百数十年前の仏画壇巨匠の作品に触れ展示室を出る頃には、早くも笠友会総会会場入りの刻限となる。

会場は、湯村温泉・常磐ホテル。総会は、順調に進行終了し、やがて懇親会。さらに、二次会、三次会と体力の許す限り飲み語り、夜を更かした方も居られたようです。

日程二日目は、昇仙峡巡りでスタート、昼食は、サントリー山梨ワイナリ



一見学後にバーベキュー。霧雨模様だった天気も回復し満開の桜の下、五十余名の食欲も満開、ワインのボトルと大皿のお代わりがつづきます。あげくの果ては、冷蔵庫のストックが、尽きてしまってお開きとの噂も……。

こうして、日程は終わり全員無事に帰路車中の人となりました。ちなみに、疑問をお持ちの読者の方に、笠友会(りゅうゆうかいと読みます)とは……三笠産業で生産販売する製品の生産材料等を納入していただいている主要四十数社さんと弊社生産部門が会員となる親睦会です。

最後に、日頃、弊社への生産材等納入にあたり品質、納期、価格等に努力と協力を下さっている方々、そして今回の総会遂行にご尽力、ご協力下さった方々に、紙面を借りまして厚く御礼申し上げます。

資材課 菊池記



凝り性で三笠ナンバーワンの定評ある三ツ木「ブンさん」と、恋ならぬコイの始まりは杉戸で買った中古住宅の庭に池があったからだ。「いつの日か、俺もコイを飼ってみたいなあ……」と淡い思いを抱いたのはずっと昔、故京谷会長の葉山の邸宅でみた池と鯉の感動だった。

夏も近づく八十八夜のころ鯉はウン千、ウン万とおびただしい数の卵を生む。フ化するはそのホンの一部。餌は先輩の手ほどきを基本に研究を重ね、卵黄を漉して練って心をくたく。離乳食ともいべきミジンコを探して田圃や水たまりを歩き回るが、農薬により今はもう市販の餌に頼るほかない。



コイが泳ぐ姿と風景は、試作機械の重要ポイントを旋盤で削る神経すりへらすような仕事に明け暮れる「ブンさん」にとって、魂の救済に似た安らぎを感じさせるという。

杉戸の庭池は四畳半弱。持ち前の凝り性を池に向け、コイにのめり込んだ。いまは平均30センチ大のヒゴイが38尾。三ツ木家の家族になって悠々と泳いでいる。一番の主は70センチのマゴイ。これはまだ小学生だった長男坊やが

近くの川で釣ってきたものだ。ヒゴイの半数は産卵から面倒を見て育てた逸物？ぞろい。

池の改良設計から水の濾過装置の調査研究もとこと

んやった。太鼓判の押せた濾過器は同好者にも推奨して喜ばれている。吉田顧問の池でもいま順調に稼働中とのことだ。恋は愛情。コイも1に愛情、2に愛情、最後まで愛情です、とのたまう三ツ木のブンさん。ま、三笠の奇人番付には欠かせないでしょう。



樹木トーク

橡、枳、七葉樹 トチノキ

炎天の夏、お茶の水駅から駿河台下への道を降りて行く。明治大学の角を右に曲がるといきなり見るからに涼しい緑陰のトチノキ並木が始まる。

江戸の名残の呼び名では雁木坂だと標識が出ているけれど、今では誰が立てたか「トチノキ通り」と立派な表札も目につく。

並木のなかばで左折し山の上ホテルで右折して坂道を下れば猿楽町の錦華公園。公園に隣接して夏目漱石ゆかりの錦華小学校はなぜか先ごろお茶の水小学校と名を変えてしまったが「我輩は猫である」の碑とサクラの老木も若い並木も、都会の一隅にあって心のやすらぎを感じさせる。

これはそのまま、三笠産業本社への通勤の道であり、四季の移り変わりを樹木を相手に知らず知らずに語り合う道でもある。まずはトチノキからスタートしたけれど三笠に限らずどこでも身近に見られる木ばかりです。それら一本一本をとりあげて「樹木トーク」の気楽な雑学オペンキョウを始めることにしましょう。

記者は山国生まれの山国育ちだから、トチ餅も食べ、トチの木皿や鉢は日常用品だった。家の「茶ぶ台」を「こ

れはトチだから見事な木目だぞ」と云っていた祖父の思い出もある。けれどもその「トチ」がどんな木なのか、どこに生えているのかも知らぬまま少年時代を過ごして上京。そんな地方出身者がはじめてトチの木を教えられたのは日比谷公園の裏手、警視庁や法務省のある霞ヶ関の並木道でだった。

「これがマロニエなんだ。日本ではトチノキというらしいがね」

あそこシャンソンが流行で西条八十の「パリの屋根の下」という詩で若者は遠い夢をゆさぶられつつ歌ったものだった。"鐘は鳴る、鳴る、マロニエの並木道、巴里の空は青く晴れて、遠き夢をゆする……。"

やがてトチとマロニエの相違もわかり、トチの大木の肌に触れたり褐色に輝くその実を拾ったりして経験の年齢を重ねて来たわけである。

花のいのちは短い。まして大きな枝葉の上に天に向かって咲くトチの花はよほどのチャンスがないと目にとまらない。したがって都会では街路樹として新緑や木漏れ日、そして秋の枯葉などを鑑賞し、山国ではその巨木とおびただしく落下する褐色の実を楽しむ。

トチノキもマロニエも同じトチノキ科の樹木だから似ていて当然である。日本のトチには橡、枳、七葉樹などの漢字があてられている。橡の字は天に伸びてそそり立つ巨木だから木偏に象の字を配したものだとか説く学者もいるがもっと異説もある。枳の字は毛並みのいい駿馬の"枳栗毛"からとってつけられた文字といわれる。七葉樹はそのものずばりでヤツデの名称と同じように掌状に派生する七枚の葉を語って

るから成程とうなづける。必ずしも七葉ではなく五枚もあれば六枚もあるけれど、まあ大概は七葉だ。

永井荷風は『フランス物語』の中で『巴里の市街は繁華の大通り、静かなる寺院のほとり、公園、四辻、河岸、至る処にマロニエと呼びて、我国の橡に類したる樹木を植えたり。四月初め芽をふきて、惣ち一つの茎より五つに分かれたる幅広き若葉となる。……(中略)五月に至りて蒼白き花を著く。その形は大なる総の如く、かの国の人



きしるしている。

秋ともなれば朝夕の冷たい霧にぬれて街の敷石に落ちたる枯葉。四季おりおり、マロニエは多感な28才の青年荷風にとって最も親しんだ友だったことは『フランス物語』の末尾の一節でも感じられる。『あ、マロニエよ、わが悲しみ、わが喜び、わが秘密を知るものは、マロニエよ、なんじのみなり』と。

広辞苑の生み親新村出の短歌に、のびしげる葉広マロニエさみどりに白き房花いまさかりなりがある。これは何処かのマロニエを詠んだものであろうか。猫も杓子もヨーロッパ旅行に出かけるけれど、はかなく短いマロニエの花ざかりに出会える

ツアー客は希であろう。記者もまた例外ではない。花ざかりを見る幸運に遭遇したのは埼玉県川口市のグリーンセンター。「西洋トチノキ」マロニエと日本のトチノキが交互に植えられた並木道で思わず息をのんだほど美しいベニバナマロニエだった。トチノキの方は花季がずれたのか遠慮したのか緑葉だけが5月の風にそよいでいた。

霞ヶ関のトチの並木で白とピンクの花群れを見たことはあるが、われらが駿河台のトチノキ通りではまだ花に逢っていない。明治大学やアテネフランセの学生たち。そして三笠のご一同。いまは真夏の陽の光を地上のそこかしこに洩らして縞模様をうつす濃緑色の葉の茂みを上げばそれで充分すぎる喜びである。すくすくと真直に伸びた幹。端正に分岐した太い枝葉、しかも樹容の全体が調和のとれた風姿で八頭身の美女をみるような涼味と爽快感を味わせてくれるからだ。

やがて秋の風に傷つき破れて褐色に変じていく風情もいい。一葉も残らず裸木になったトチノキ並木の冬はまた捨てがたい。

東京の街路樹は明治の博物学者であり大官僚であり万国博の生みの親であった男爵田中芳男の功労といわれる。霞ヶ関のトチノキ並木は奥多摩に生えていたトチの実から苗木をつくって植栽したのだとか。

整然とした街路樹のトチにくらべて山に自生するトチノキは野生のエネルギーを充満した迫力がある。都会生活のマンネリにつかれて心弱まったら、山を歩いてトチノキからパワーを得てこようじゃありませんか。

(牧)

㈱カナモト新本社ビル 札幌に堂々落成

去る5月16日に㈱カナモト様に於かれましては、新本社ビル竣工記念並びに東証二部上場記念パーティーを、



札幌パークホテルで盛大に開かれました。

㈱カナモト様につきましては、ご存知の方も



多いか 金本太中社長と新社屋と存じますが、改めてご紹介いたしますと、建設機械のレンタル業界で初めて株式を上場（1991年6月・札幌証券取引所）され、本年3月28日にはこれもまた業界初の東京証券取引所市場第二部への上場も果たされた優良企業であります。営業拠点も、本社の所在地であります北海道に36カ所、本州地区には46カ所と拠点展開されていますが、東証上場されたことで、今後の更なる躍進が大いに期待されます。

そして、その全国展開の要となるのが、このたび北日本最大の都市・札幌市に新築された新本社「Kビル」です。Kビルは、敷地面積約222坪に約1,074坪の床面積で、地下鉄東西線「バスセンター前」駅から徒歩2分という好立地に所在しています。

また、「近未来のデジタル化に十分対応できる通信機器を設備した」（金本寛中副社長談）とのことで、ファルコン（専用交換機）を介し光ケーブルを直接引き込み、さらに館内の電話機の大半がPS（PHS対応コードレス電話）と

いう全国でも珍しい先進的なシステムとなっています。

デスクなどの什器備品もしゃれた雰囲気、コーディネートされ、仕事が楽しくなるような明るいフロアとなっており、また、外観も御影石をあしらった淡いピンク色の瀟洒なビルで、国道12号線に面した建物の中で一際目立つ存在となっています。

なお、これまでの室蘭本社ビルには、本社機能の一つ業務企画部と開発室が残り、レンタル事業部門と鉄鋼事業部門の各営業拠点も室蘭で営業を続けられています。

㈱カナモト様の今後益々のご発展と金本社長様始め社員皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

札幌営業所 向成記

東北三笠レンタル会 経営者セミナー開催



今回で4回目となりました東北三笠レンタル会経営者セミナーは4月23日（火）～24日（水）の両日仙台サンプラザホテルにて開催されました。

快晴に恵まれ、会場すぐ近くの榴ヶ丘公園では、例年より約1週間ほど遅くはなりましたが、桜が満開となり、宴の声も聞こえてきそうな中での開始となりました。

特設会場にて新製品及び推奨機種種の発表会が行われた後会場を移し、初めに東北三笠レンタル会福田会長（幸和リース㈱社長）より御出席いただいた会員の皆様へ御礼と東北地方に於ける景気回復への希望などを交えたご挨拶

をいただき、続いて三笠産業京谷副社長より「最近、日本が景気が良いというのではなく地域で差が出ているような感があるので皆様の一層のご支援をお願いします」と挨拶、そして三笠産業松下専務より新製品及び推奨機種種の説明がありました。

しばし会員の皆様に休憩していただいた後、毎回ご好評の建設新聞社の白川編集長による「平成8年度東北地方の各地区の建設動向」と題しての講演がありました。

講演終了後は懇親会に移り皆様思い思いに楽しんでいただきながら終了となりました。

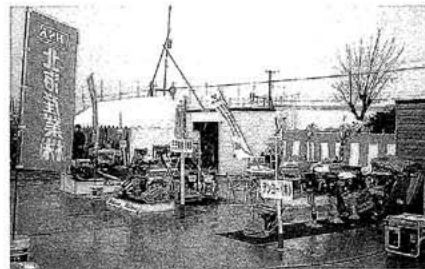
翌日はすばらしい快晴の中でゴルフコンペが開催され、㈱館内リース販売・館内社長が見事優勝されました。

仙台営業所 菊地記

北海産業㈱ダイナミック フェスティバル開催

去る4月19日、20日の2日間、北海道に於ける永年の代理店であり、北海道三笠レンタル会の初代会長をお願い致しておりました北海産業㈱様（社長・伊藤武史殿 本社・苫小牧市あけぼの町2丁目2番1号）の三笠営業所にて4年ぶり第4回目の展示会を開催されました。

展示会は2日間とも、あいにくみぞれ混じりの雨で寒い日でありましたが、三笠営業所の鈴木所長を始めとする北海産業㈱様の社員の皆様の努力により地元、近郊のみならず遠くは静内、浦河からもユーザーさんがお越しになり、ビンゴゲームやゴルフのロングパ



忍法猿楽流



ットコーナー等楽しめる企画も用意されており、ご来場のお客様には大変楽しんでいただいた様子でした。

我が三笠コーナーでも、MVR-65Wバイプロコンパクターや、マイコンバイブレーターを始め数多くの商品を展示し、多数の御成約を頂くことが出来ました。

北海産業㈱様には永年、三笠製品をレンタル機として、又販売品として採用頂き、近年ではマイコンバイブレーターを多数ご採用頂くなど、多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。伊藤社長様を始め社員の皆様のご活躍とご健闘を心よりお祈り致します。

札幌営業所 丸山記

三笠クイズ VOL.22

【問題】 タテとヨコのかぎを解いて1～5の文字をつなげると、夏にふさわしい言葉が浮かんできます。さて何でしょう。

ア	1	2	3	4	5
ア	イ	ウ	エ	オ	カ
イ					
ウ					
エ					
オ					

ヒント

ヨコのかぎ
ア. 飛行機は目的地に近づき機内
イ. 牛馬を放し飼いにすると
ウ. 世間のことやこまかい人情に
エ. あのかぎの試合は
オ. 彼の意見は
カ. この回の攻撃は
キ. 〇〇が鷹を生む。

タテのかぎ

ア. 急に雨が降りだしたので軒下
イ. 目の下や目尻に出来る黒いも
ウ. 泣いているように見える
エ. ははに代わって子供を育てる
オ. 大雨で川の
カ. カーナビで最短

応募の方法 官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業（会社名）をお書きのうえご応募ください。正解者には抽選の上10名様に記念品に差し上げます。

●あて先 101 東京都千代田区猿楽町1-4-3
三笠産業株式会社 「三笠ニュース」編集部
●締切り 1996年8月12日（消印有効）

VOL.21の答えは「ハナダヨリ」でした。次の10名様に図書券をお送りしました。
佐藤毅様（都城市） 佐藤恒雄様（南蒲原郡） 清水寛子様（長野市） 中山住民様（遠見郡） 谷本義幸様（斜里郡） 永沢利昭様（釜石市） 鈴木由美子様（中央区） 宮崎公明様（相模原市） 鈴木利幸様（岩槻市） 石野田陽子様（神津島）

氏名 中島鉄生
生年月日 昭和46年8月2日
出身地 東京都
所属 第二営業部南関東課
家族 独身



—日頃どんな仕事をしていますか？

本社の南関東課で多摩地区を担当することになりました。静岡営業所から来たばかりなので、まずお客様に顔を知ってもらう為と、お客様の名前、場所を覚えるため訪問してまわっております。

—今もっとも関心を持っていることは何ですか？

小さい頃より、野球、テニスなどスポーツをして体を動かすのが好きだったので、今一番気になっていますのは、やはりアトランタオリンピックです。今回、水泳、柔道と期待の持てる選手が揃っており、何個金メダルを獲得できるか今から楽しみにしております。最近、スポーツをする機会が減ってしまったので、また時間をつくってやってみようと思っております。

—お客様に一言どうぞ

入社して2年目、1年目は静岡にて修行を積み、今年の6月より本社にきたばかりなので、まだまだ不馴れなところが多くありますが、頑張りますので始めのうちは大目に見て下さい。また、この南関東課は、私を含め営業2人でまわる為、手が足りない場合もあるかとは思いますが、一生懸命努力いたしますのでどうか宜しくお願い致します。

我・ら・三・笠・ビ・ル・ズ



氏名 竹本義範
生年月日 昭和47年10月3日
出身地 埼玉県
所属 第二技術部
家族 独身

—日頃どんな仕事をしていますか？

前後進バイプロコンパクターを担当しており、便利で使いやすい、お客様に喜ばれる製品を開発するために、日々研究や実験におられる毎日を送っています。

現在は、本年度の新製品のMVR-100Wの開発、また、お客様のご要望によりアスファルト舗装時の作業性向上のためのMVR-65Wの改良を行っているチームの一員として頑張っております。

—今もっとも関心を持っていることは何ですか？

2年前に初めてスキーをやり、全く滑れなかった悔しさにより、何度かスキーに行き多少滑走できるようになりました。きれいな景色が見られるのもスキーの楽しみの一つです。もう少し上手になったら今度はまわりで滑っているスノーボードが楽しそうなので挑戦しようと思っています。

—お客様に一言どうぞ

お客様のご要望に応える製品を開発するため日々努力して行きますので、本年度の新製品MVR-100WをはじめMVR-65Wさらに私、竹本義範を宜しくお願い申し上げます。